

# 感染性胃腸炎週報 2016年 第49週 (12月5日～12月11日)

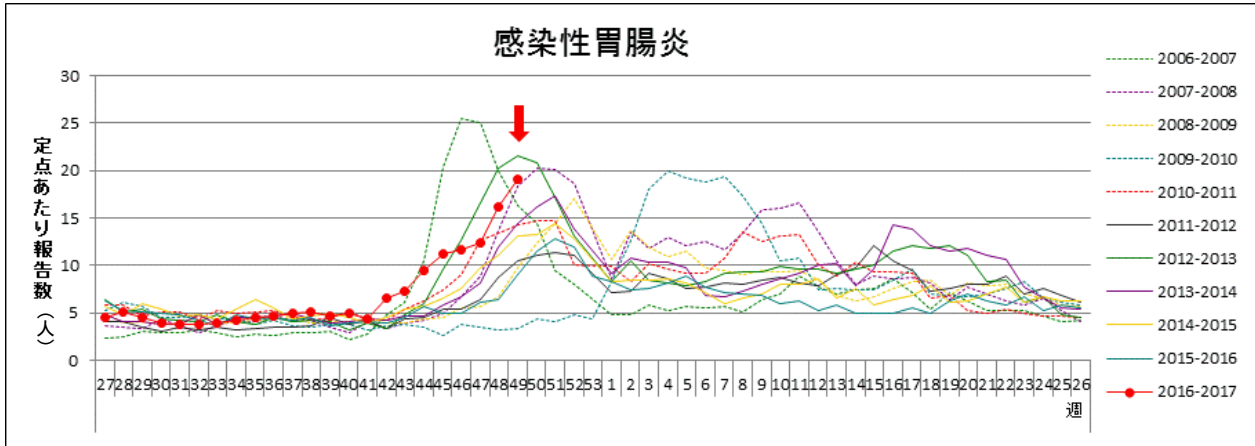
【お知らせ】 次週、2016年第50週(12/12～12/18)の感染性胃腸炎週報は、12月26日(月)にホームページへ掲載いたします。

## 岡山県の流行状況

- 感染性胃腸炎は、県全体で1,030名(定点あたり16.17 → 19.07人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。
- 感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が6施設でありました。(12月5日～8日)

### 【第50週 速報】

- 感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が6施設でありました。(12月12日～15日)

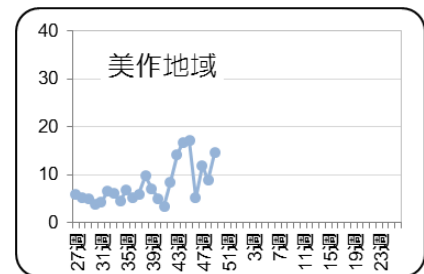
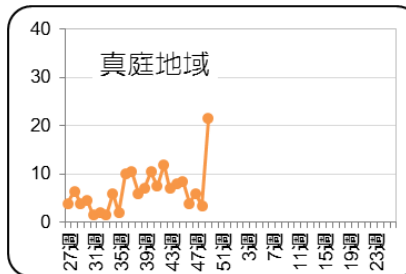
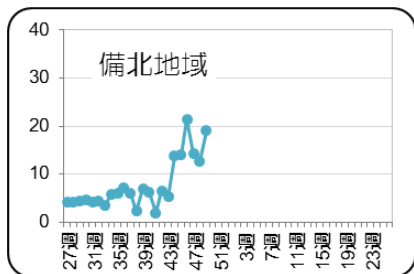
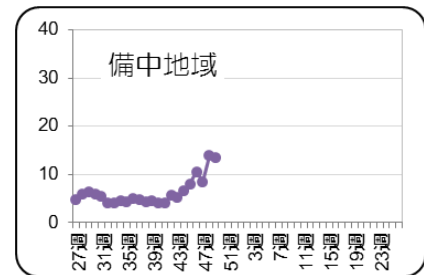
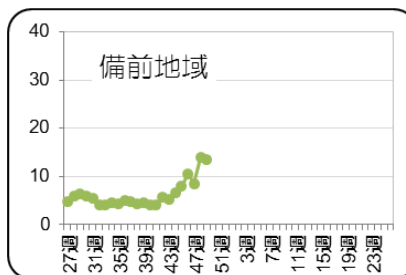
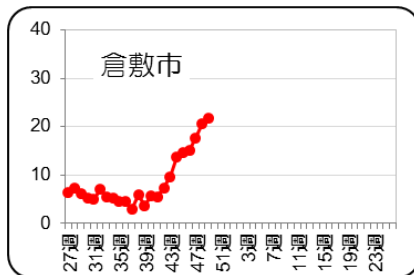
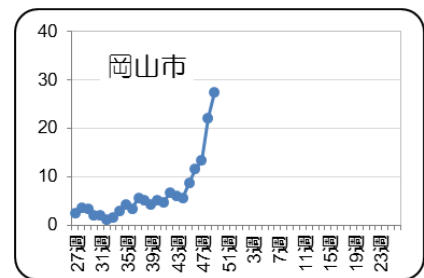
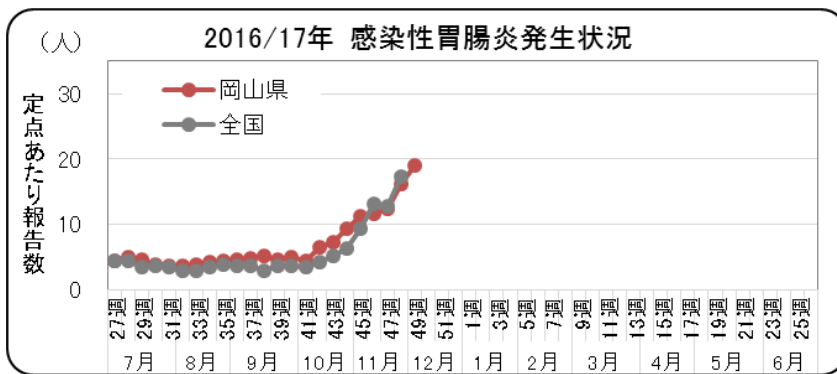


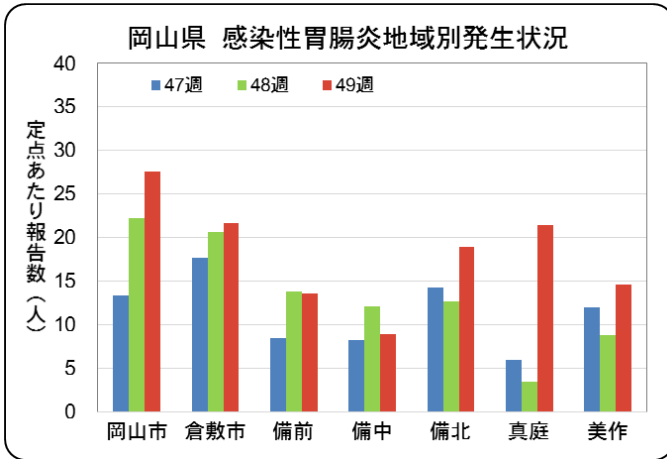
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で1,030名(定点あたり16.17 → 19.07人)の報告があり、第41週(10/10～10/16)以降、患者の増加がつづいています。感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が、岡山市と備中地域の6施設でありました。さらに、第50週(12/12～)にも、学校等の臨時休業が岡山市、倉敷市、備中地域、美作地域の6施設で報告されています。

冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。また、小さなお子さんや高齢の方は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

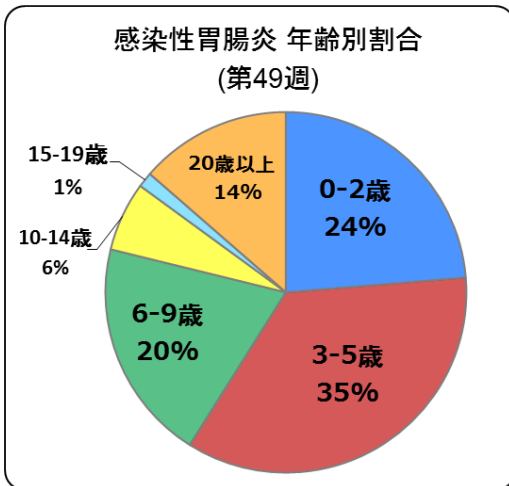
## ◆地域別・年齢別発生状況





レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、岡山市 (27.57 人)、倉敷市 (21.64 人)、真庭地域 (21.50 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、特に真庭地域 (3.50 → 21.50 人) では、前週より大きく増加しました。また、発生レベル3が継続している岡山市、倉敷市、備北地域に加えて、新たに真庭地域でも発生レベル3となりました。

第49週年齢別割合では、3-5歳 35%、0-2歳 24%、6-9歳 20%の順で高くなっています。

## ◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

### 予 防 方 法

#### 1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

#### 2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。

拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**(※家庭用塩素系漂白剤でも代用可)で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

#### 3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水洗濯か**次亜塩素酸ナトリウム**(※家庭用塩素系漂白剤でも代用可)での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗った後、熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

#### 4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心部を85~90℃で90秒間以上)

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

※塩素系漂白剤の使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。

